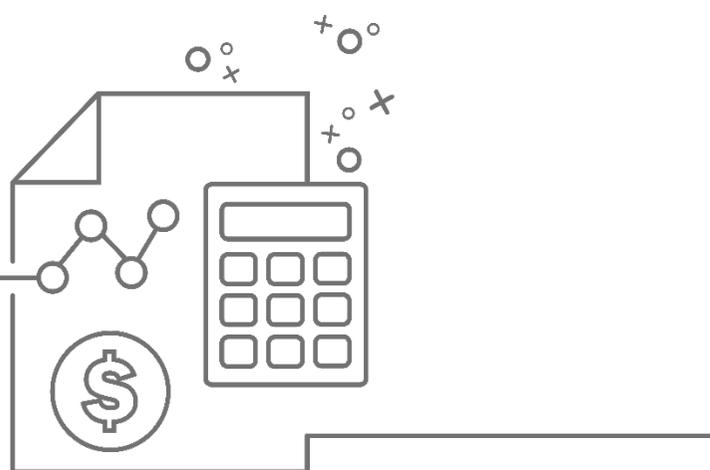


資本コストや株価を意識した経営の実現

2025年6月24日



東京証券取引所 プライム市場
証券コード:7600

資本コストや株価を意識した経営の実現

当社グループは、連結売上高拡大とともに、製品開発・製造能力強化への投資、製品ポートフォリオマネジメント強化、売上原価低減・販管費効率化等により収益性を向上し、株主資本コストや株価を意識した経営を実現します。

1. 現状分析

長期 VISION 「RT500」(2025年3月期から2033年3月期)の1st Stageの初年度である2025年3月期は、連結売上高251億円、営業利益率6.2%、ROE Δ 1.8%、ROIC3.8%となりました。ROEが Δ 1.8%となった要因は、米国製造原価の悪化、及び円安進行による日本国内の売上原価率の上昇、及び特別損失の計上によるものです。その結果、株価はPBR1倍割れの状態となっています。

2. 改善に向けた具体的な取組み

<長期 VISION 「RT500」 1st Stage ローリングプラン 2028 で目標とする指標>

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	2028年3月期
	実績	予想	目標	目標
売上高(百万円)	25,114	26,400	28,700	31,200
営業利益(百万円)	1,555	1,850	2,550	3,300
営業利益率(%)	6.2	7.0	8.9	10.6
当期純利益(百万円)*	Δ 461	1,450	1,750	2,350
ROE(%)	Δ 1.8	5.8	6.6	8.4
ROIC(%)	3.8	4.3	5.7	7.1
配当性向(%)	-	30.9	30.0以上	30.0以上
期中平均換算レート (円/USドル)	152.5	145.0	145.0	145.0

* 親会社株主に帰属する当期純利益

PBR1倍割れの改善策として、長期 VISION 「RT500」の1st Stage ローリングプラン 2028 の最終年度に連結売上高312億円、営業利益率10.6%、ROE8.4%、ROIC7.1%を目標として連結売上高の拡大、及び収益性の向上を図ります。最終年度の目標を達成するために、サプライチェーン問題の早期解決に取り組むとともに、新製品導入による米国売上高の2桁成長復帰を目指します。同時に SAICO プロジェクトに取り組むことで売上原価を低減、販管費効率化等により収益性の向上を図ります。また、製品ポートフォリオを定期的に見直すこと等により、株主資本コストや株価を意識した経営を実現します。なお、株主還元策は、安定配当を基本とし、配当性向30%以上を目指すこととしています。